

科目ナンバー	BUA-3-020-jk			科目名	バーチャルカンパニーⅢ		
教員名	兼本 雅章、村山 賢哉			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	起業家教育プログラム「Youth Enterprise」を利用し、仮想企業を立ち上げる。これを運営する模擬体験を通して、起業意欲・商品開発・ITスキル・情報倫理など情報化社会において必要となる知識・技能を総合的に学習する。また、バーチャルカンパニーⅠ・Ⅱの発展であるため、より高度な商品開発活動が求められる。						
到達目標	12月に行なわれる仮想企業の見本市「Youth Enterpriseトレードフェア」に参加することを第1の目標とする。さらに、世の中で売れる新商品を開発することを第2の目標とし、それをどのように売るかを考え、商品化していくことを第3の目標とする。また、バーチャルカンパニーⅠ・Ⅱで培った経験を活かし、さらに理解を深めていく。実際に企業・自治体などと連携しながら進めていくため、その関わりを通して、実社会で必要とされる能力を自分達で把握し、是非身につけてもらいたい。さらに、SNS形式の「Youth Enterprise」に定期的に情報発信を行っていくので、情報化社会における社会への情報発信力を身につける必要がある。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度		自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	講義期間を通して、参加者によるグループワークが活動の中心となる。特に、仮想企業設立後は、仮想企業ごとのミーティングを頻繁に行うことになる。また、企業・自治体などへの訪問も必要になるため、多くの授業外学修時間が必要となるので、そのつもりで受講すること。 授業時間内外を問わない教員との密なコミュニケーションによって、学び(仮想企業活動)の進捗管理やフィードバックを行っていく。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	・バーチャルカンパニーⅠ・Ⅱの単位を修得していること。 ・12月に京都で行なわれる「Youth Enterpriseトレードフェア」に参加できること。 ※グループワークのため、無断欠席は厳禁である。また、途中での離脱は原則認められない。						
アセスメントポリシー及び評価方法	グループの進捗状況(20%)、グループワークへの参加状況・貢献度(80%)で総合的に評価する。						
教材	Youth Enterprise(NPO法人アントレプレナーシップ開発センター)を利用する。						
参考図書	授業中に随時指示をする。						
内容・スケジュール	グループごとの進捗により内容が変化するが、標準的なスケジュールは以下の通りである。 <4～5月> ・グループ分け:社長および社員の決定 ・商品開発分野決定:グループごとにどのような分野で商品開発を行うかを討議・決定 ・商品開発開始:開発分野が決定し次第、商品案の検討を行う ・支援企業の選定:商品を具現化することができる企業を調査・選定する ・Youth Enterprise投稿開始: SNS形式のYouth Enterpriseへ仮想企業を登録し、情報発信を開始する <6～7月> ・支援企業決定:選定した企業の中から、提携を希望する企業を決定する ・支援企業訪問:企業を訪問し、提携の交渉を行う ・商品の実現性の検討:企業と打ち合わせを繰り返しながら、実現可能な商品案へと昇華させる <9～10月> ・Youth Enterprise投稿:最低でも週に1回はSNSへ情報を発信していく ・商品開発活動:支援企業を訪問し、試作・打ち合わせを繰り返しながら、商品を完成させていく ・Youth Enterpriseトレードフェア準備:事業計画や商品紹介、見本市でのブース(展示)やプレゼンテーションなどを作り込んでいく <11月～12月> ・トレードフェア参加および反省:トレードフェアに参加し、そこで得られた新たな知見を基に、仮想企業の反省点や商品の改良点を検討していく ・支援企業訪問:検討した改良点をふまえ、支援企業とさらに打ち合わせを行っていく <1月> ・業績発表会(まとめ):全体の活動を通じて、仮想企業の業績についてプレゼンテーションを行う						

・支援企業訪問：支援を得た企業を訪問し、活動の全体報告を行う
 <通年>
 ・支援企業訪問とYouth Enterpriseへの情報発信

Number	BUA-3-020-jk	Subject	virtual company III			
Name	兼本 雅章(Kanemoto Masaaki)、村山 賢哉(Murayama Kenya)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course outline	In this course, we will launch virtual companies and develop new products. Also, this course is an evolutionary version of Virtual Company I ? II, most advanced product development activities are required.					